

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和7年度)

施設名	①片山市民プール ②北千里市民プール	所管部室課名	都市魅力部 文化スポーツ推進室
所在地	①吹田市出口町31-1 ②吹田市藤白台5-5-2	設置年月日	①昭和37年8月2日 ②昭和48年6月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	市民の憩いの場を設け、あわせて体力の向上を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 ①・敷地面積:8,637㎡・延べ床面積:4,016㎡ ・50m9コース・25m6コース・変形620㎡ ・25m8コース(室内) ②・敷地面積:22,295㎡・延べ床面積:1,237㎡ ・50m9コース・変形1,290㎡、200㎡	【開場時間】 夏期(7/1～8/31)①～② ・10:00～18:00(土日祝9:00～18:00) ただし、①室内プールのみ21:00まで。 夏期以外(9/1～翌年6/30)①室内のみ ・13:00～21:00(土日祝9:00～21:00)	【休場日】 年末年始:12/28～1/4

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	南海・サンアメニティ共同事業体					
(2)指定期間	令和6年(2024年)4月1日～令和11年(2029年)3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者 が行う業務内容	1. 施設の管理運営に関する業務 2. 施設の維持管理に関する業務 3. スポーツ教室の運営に関する業務 4. その他、自主事業の運営に関する業務					
(5)指定管理者 の収支			令和6年度		令和7年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	指定管理料 又は利用料金 (円)	176,500,000	176,500,000	177,500,000	177,500,000
		自主事業 (円)	13,400,000	15,779,033	13,400,000	18,233,011
		その他 (円)				
	支出	管理経費 (円)	182,900,000	177,034,445	184,300,000	177,876,917
		自主事業 (円)	7,000,000	14,929,707	7,000,000	17,232,589
		その他 (円)				
	収支差額 (円)		0	314,881	0	623,505

3 成果指標(活動指標)

成果指標(活動指標)			令和6年度		令和7年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
1	夏期・大人利用者数(片山)	(人)	-	29,964	-	31,445
2	夏期・小人利用者数(片山)	(人)	-	23,388	-	24,791
3	夏期・大人利用者数(北千里)	(人)	-	14,243	-	16,411
4	夏期・小人利用者数(北千里)	(人)	-	16,551	-	17,497
5	温水・大人利用者数(片山)	(人)	-	69,648	-	70,442
6	温水・小人利用者数(片山)	(人)	-	25,087	-	24,838
7						
8	合計			178,881		185,424

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	・ご意見箱の設置(通年) ・利用者アンケート ・利用者懇談会(年2回)
(2)把握結果	・更衣室ロッカーの不良(片山) ・地下男女シャワー室のカビあり(片山) ・トレーニング室各所の不良(片山)
(3)結果を受けての対応状況	・更衣室ロッカーの修理(片山) ・地下男女シャワー室のカビ取りを実施(片山) ・トレーニング室網戸の不良個所の部品取替え、マシン消耗部品の取替え(片山)

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	・管理運営の方針は、事業計画書に記載されている事項を遵守している。 ・平等利用の確保は、利用者の公平性が確保されている。
(2)施設の効用の発揮	・施設の設置目的に沿った事業計画を立てており、事業の中には、水泳の普及以外の目的を持った事業もあり、地域の健康づくり拠点としても機能している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	・職員研修(各種スポーツ研修・接遇・AED・消防訓練・人権・クレーム対応等)を積極的に行い、安心・安全・快適に利用していただくための運営に取り組んでいる。 ・特にAEDや、様々な状況を設定した心肺蘇生法の研修については、民間の高い安全基準で行っている。
(4)施設の管理経費の縮減	・水温、室温、採暖室温を必要以上に上げず、エコオフィスプランに沿った内容で実施管理している。 ・水道使用量のチェックを行い、水道使用量の削減を図っている。
(5)その他	
(6)総合評価	・管理業務について、全般的に適正に管理されている。 ・自主事業では、ヨガや子ども体操教室等を実施し、利用者の拡大や満足度の向上が図られている。